

總聯合の政治運動の方針は、略的に示せば左の四項である。

- 一、國体を尊重し、國情に即して運動するもの
 - 二、資本主義打倒とその政治的目標とするもの
 - 三、統制經濟を實現し権取の發絶を期するもの
 - 四、労働組合の政治的要求を遂行し、労働組合の擴大強化に役立つもの
- これである。

しかし乍ら今日、日本の有聲無聲を通じて既成政黨には、この四大事項を遂行し得る政策はひいやうである。

この四大事項は、日本の世界に於ける地位と労働階級の經濟的立場を認識すること、どうしてと欲くことの出来ぬ事項である。

だが今日の日本の労働組合の實力とその状態の下に、労働組合としての使命と第二義的として、かゝる黨の組織を第一義と考へるべき時ではない。

従つて總聯合は、現下の時局に處して労働組合の使命遂行を第一義とし、黨と總聯合

各自らの責任に於て務まらざる如きは、はらう差控へることとしてゐるのである。

従つてその改善の策として、この四大事項に近き綱領を有する政治結社と連繫を持つことが妥當とされ、そこに未だ公式の支持関係はないのであるが、創立當時の事情等よりして、新日本國民同盟とは種々関係するところ多いのである。

しかるに其後同盟と總聯合に距離を生ずるところあつたので、三月十八日大阪に開かれたる中央執行委員會の決議を以て同盟に質すところあつたが、同盟はこれを認めたので、前述四大事項を名実共に行ひ得る黨たりしむるべく努力する方針である。

但し四大事項遂行のため同盟に囚はれることなく中央部は善處し、全組合員はその中央部の統制を堅くすべきである。

選挙戦その他政治部の活動

本年度に於て選挙戦に臨んだものは比較的少ないが、昭和七年十一月東京區會選挙に瀬下勘内、守野信次郎両君立候補、いづれも當選した、續いて八年十一月、皆川利吉君また東京區會選挙に立候補し、これもまた當選した。